Claude Code講座の練習として作った提案です。

クラウドワークスアカデミーのClaude Code講座【初級】を受講したときの課題として、受講生のSatomiが作成・提出したものです。クラウドワークスアカデミーの公式の資料ではなく、運営の方から依頼を受けた仕事でもありません。

想定した読み手：クラウドワークスアカデミーの運営の方

Claude Code講座【初級】ページの改善提案

2026年11月作成　Satomi（受講生）

今のサイトでわかったこと

講座を申し込むか迷っている方の目線で、公開されているページを読みました。

すでに伝わっている強み

- 3週間・39,600円で、Slackでの質問し放題、note記事の添削、同期生のグループと、人のサポートがある
- ポートフォリオサイトの公開まで、「仕事を取る」流れで課題が組まれている
- デスクトップアプリから始めるので、ターミナルなどに慣れていない方も始めやすい
- 無料個別相談会があり、迷っている方が相談できる

まだ伝わりにくいところ

- 「受講期間 未定」「受付停止中」だけで、次にいつ受けられるかがわからない
- 受講生の声が、note記事3本へのリンクだけで、ページの中では読めない
- 講座で配られたヒアリングの記録（練習用）で運営の方が話していた「クラウドワークスの仕事データから講座を作っている」ことが、ページには書かれていない（登録者数の数字だけ）
- 修了した後、仕事につながるまでの道すじが見えない
- 作るものの見本、動画の量、返金の決まりが見当たらない

この提案で目指すこと

アカデミーにしかない良さを、迷っている方にページの中で伝わるようにすることです。新しい仕組みを増やすより、**今ある良さを言葉にして見せる改善**を中心に選びました。

※ 2026年11月14日に、受講生が公開ページ https://academy.crowdworks.jp/course/ai/claude-code を文字として読んだ結果です。画像の中の文字や、あとから表示される部分は読めていないことがあります。ページの内容は、その後変わっている可能性があります。

似たサービスとの違い

「非エンジニア向けのClaude Code講座」を7つ調べ、比べました。

サービス	値段（税込）	期間	人のサポート	仕事につながる支援
クラウドワークス アカデミー	**39,600円**	**3週間**	**Slackで質問し放題、添削、同期生**	**ポートフォリオサイトとnote記事を作る**
A社	29,700円（通常53,900円）	動画 約3時間20分	質問フォーム	記載なし（事務作業の効率化）
B社	月16,280円〜	3か月	ライブ、添削、メンター	実案件のコンペ、修了証
C社	247,500円	3か月	週1の会議、チャット	記載なし（業務の自動化）
D社	43,780円	2時間	その場で質問	記載なし（業務の効率化）
E社	会員制（金額は確認できず）	59分	記載なし	記載なし（全体像の理解）
F社	確認できず	動画 約3時間	記載なし	記載なし（事務作業の効率化）
G社	無料	4日間	ライブ	記載なし（体験）

※ 2026年11月14日に、各社の公式ページで受講生が確認した内容です。ほかのサービスの社名は伏せています。「記載なし」は、その日に見たページに書かれていなかったという意味です。（）内は講座のゴールです。

アカデミーにしかないもの

- **「仕事をもらう」ことがゴール**。ほかの多くは、会社員の業務効率化がゴール
- **手ごろな価格と、人のサポートの両方**がある。同じくらいの値段の講座は、動画だけか2時間だけ
- **仕事のマッチングサービスが運営**し、今求められている仕事をもとに講座を作っている

ほかにあって、今のページにないもの

- 次の日程、または「いつでも始められる」の案内
- ページの中で読める受講者の声
- 修了後の出口（実案件、修了証など）
- 無料で中身を試せるもの、分割・月額の支払い

まとめ：アカデミーの良さは、ほかにない強みです。ただ、その良さがページの中で言葉になっていないため、比べている方に伝わりにくくなっています。

1 「仕事データから講座を作っている」をページに書く

効果：大　｜　私が担当する場合：できる

課題

講座で配られたヒアリングの記録（練習用）では、一番の違いとして「クラウドワークスの仕事データから、今求められているスキルを講座にしている」と話されていました。ところが、ページには登録者数の数字があるだけで、そのことが書かれていません。

変えること

「なぜこの講座なのか」の欄を作り、仕事データをもとに講座を作っていることを、短い文で伝えます。

文案の例（受講生が考えたたたき台です。公式の文ではありません。数字は公開ページのものです）

なぜ、今この講座なのか
クラウドワークスには、790万人以上の方が登録しています。どんな仕事が発注され、今どんなスキルが求められているか。アカデミーは、その仕事の動きをもとに講座を作っています。この講座のゴールも、「AIを使って、仕事を取れる人になる」ことです。

期待できる変化

ほかのスクールと比べている方に、「ここで学ぶ理由」がはっきり伝わりやすくなります。運営のみなさまの思いを、そのままページの言葉にできます。

私ができること

- ヒアリングの記録のまとめと、似たサービス7つの比較は、この練習の中で作りました。そのまま文案づくりに使えます
- 文案を2〜3通り用意し、選んでいただけるようにします
- 社内の数字など、公開してよいかわからないところは、必ず確認してから書きます

2 受講生の声を、ページの中で読めるようにする

効果：大　｜　私が担当する場合：できる

課題

受講生の声は、note記事3本へのリンクだけです。ページを離れないと読めないため、迷っている方の目に入りにくくなっています。

変えること

受講生ごとに、ひとことの抜粋と「受講前 → 3週間後」をページの中に置き、続きはnoteへつなぎます。

載せ方の例（中身は、受講生のnoteから抜き出して作ります）

〇代・〇〇の方
受講前：〇〇
3週間後：〇〇
「ひとことの抜粋」
→ noteで続きを読む

〇代・〇〇の方
受講前：〇〇
3週間後：〇〇
「ひとことの抜粋」
→ noteで続きを読む

〇代・〇〇の方
受講前：〇〇
3週間後：〇〇
「ひとことの抜粋」
→ noteで続きを読む

期待できる変化

自分と近い方の変化が見えることで、「自分にもできそう」と思っていただきやすくなります。

私ができること

- 受講生のnoteを読み、要点を抜き出して、ページ用の短い文に整えます
- 必要であれば、受講生の方にオンラインで短くお話を伺います。会員制の施設運営での接客経験から、お客様の声をお伺いする機会が多くありました。
- 掲載の許可の取り方は、運営のみなさまのやり方に合わせます

3 次の開講予定と、LINE登録で届くものを書く

効果：大 ｜ 私が担当する場合：一部できる（文面の部分） ｜ 日程は運営のご判断

課題

ページには「受講期間 未定」「受付停止中」とだけあり、次にいつ受けられるかがわかりません。受けたいと思った方が、そこでページを離れてしまいやすい状態です。

変えること

次の予定の目安と、LINEに登録すると何が届くかを書きます。日程はみなさまに決めていただき、文面を私が用意します。

文案の例（受講生が考えたたたき台です。公式の文ではありません。〇の部分は、決まった内容に合わせます）

次回の募集は、〇月ごろの予定です
公式LINEに登録いただくと、募集が始まったときに、いち早くお知らせします。講座の内容が気になる方は、無料個別相談会（30分・オンライン）でもご相談いただけます。

期待できる変化

今すぐ申し込めない方も、LINEに登録して次の募集を待っていただきやすくなります。

私ができること

- ページの文、LINEで送るお知らせ、募集開始のときの案内文を、まとめて用意します
- 日程が決まったら、締め切りから逆算して、いつ何を用意するかを決めて進めます
- 早めにお返事し、わからないところは確認してから進めます

そのほかの改善案

今回は選びませんでしたが、ページを読んで気づいたことです。文や表の部分は、私が担当する場合にお手伝いできると考えたところです。

改善案	効果	私が担当する場合	運営のご判断
修了した後、仕事を取るまでの道すじを図で見せる	大	一部できる	必要（案件紹介などの支援を用意するか）
「仕事を取る講座」と「業務効率化の講座」の違いを表で見せる	中	できる	表現のご確認のみ
「初級に区切っているから、合わなくても無駄にならない」考え方と、次の講座への道すじを見せる	中	できる	ほかの講座とのつなげ方のご確認のみ
申し込む前に知りたいこと（動画の量、週の学習時間、返金、別にかかる費用）を表にまとめる	中	一部できる	必要（返金の決まり）
作るもの（スライド、note記事、ポートフォリオサイト）の見本を見せる	中	一部できる	受講生の作品を使う許可
無料で中身を試せるもの（動画の一部公開、短い体験会）を用意する	大	できない	必要（講師の方の稼働、講座の中身の公開）
分割払い・早割などで、申し込みやすくする	中	できない	必要（価格・支払い方法）

※ 効果の大・中・小は、申し込むか迷っている方から見た私の見立てです。

私について

- Satomi
- 経理・事務 15年
- 法人の経理・事務を一人で担当し、週1〜2日で回る仕組みを作りました
- 資料・データの作成、使いやすくミスが出にくいエクセルへの作り直し
- お約束：早めにお返事します。わからないところは確認してから進めます

進める前に確認したいこと

- 社内のデータや数字を、ページにどこまで書いてよいか（案1）
- 受講生の声や作品を載せるときの、許可の取り方（案2）
- 次の開講予定を、どこまで出せるか（案3）
- このページだけにするか、アカデミー全体に広げるか

実際に進めるなら、まず案1のたたき台から作る想定です。内容を見ていただき、進め方を相談しながら進めます。